

(別添様式)

結果概要 (目標年度：平成 年度)

1 農業経営の概況(目標年度終了時)

	水田	普通畑	樹園地	その他	合計
経営面積	a	a	a	a	a
労働力	農業従事者 男 人(うち専従者 人)		女 人(うち専従者 人)		

注 「経営面積」には、借入地面積及び受託地面積を含む。

2 作物別生産方式導入の結果

		計画目標値	結果 (目標年度終了時 または報告時)
生産 方式 導入 作物		a	a
		a	a
小計			

注 「生産方式導入作物」の上段には、導入した農業生産方式に係る農作物の作付け面積を記入し、下段には当該農作物と同じ種類の農作物の作付面積の合計を記入すること。

(目標年度終了時の結果が、計画目標値に満たなかった場合は、その理由を記入)

--

3 生産方式の内容

作物名	収量	導入した生産方式の内容	資材の使用の量・回数	
			計画目標値	結果 (目標年度終了時または報告時)
	目標	有機質資材施用技術	t/10a kg N /10a	t/10a kg N /10a
	結果	化学肥料低減技術	kg N /10a	kg N /10a
		化学農薬低減技術	回	回
		kg/10a		
目標	有機質資材施用技術	t/10a kg N /10a	t/10a kg N /10a	
結果	化学肥料低減技術	kg N /10a	kg N /10a	
	化学農薬低減技術	回	回	
	kg/10a			
	目標	有機質資材施用技術	t/10a kg N /10a	t/10a kg N /10a
	結果	化学肥料低減技術	kg N /10a	kg N /10a
		化学農薬低減技術	回	回
		kg/10a		

注1 「収量」については、「目標」に計画認定時の目標値を記入し、「結果」に目標年度終了時(または報告時)の数値を記入すること。

2 「有機質資材施用技術」、「化学肥料低減技術」及び「化学農薬低減技術」は、それぞれ、法第2条第1号、第2号及び第3号に規定する技術をいう。

3 「有機質資材施用技術」には、有機質資材名を記入すること。

4 「化学肥料低減技術」には、導入した技術の具体的な内容、施用した肥料等を記入すること。

5 「化学農薬低減技術」には、導入した技術の具体的な内容、実施時期・実施方法を記入すること。

6 「資材の使用の量・回数」には、以下について記入すること。

有機質資材施用技術においては、1作当たりの施用量及び窒素投入量

化学肥料低減技術においては、1作当たりの化学肥料由来の窒素の総投入量

化学農薬低減技術においては、1作当たりの農薬の使用回数の合計

(目標年度終了時の結果が、計画目標値に満たなかった項目がある場合は、その理由を記入)